

令和8年度  
留萌市病院事業会計予算  
概要説明書

事務部総務課

# 令和8年度 留萌市病院事業会計予算の概要

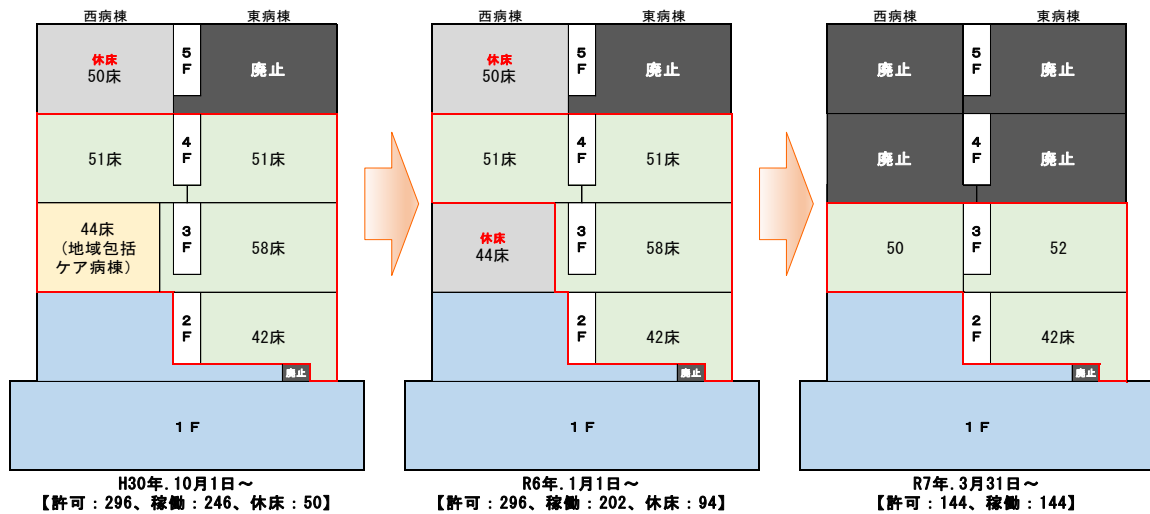
## 予算概要のポイント

### 特色

- ・留萌市民、留萌医療圏の住民が安心して暮らし続けられるよう、急性期医療の提供と救急、周産期医療をはじめとする地域にとって必要不可欠な医療の提供を維持します。
- ・地域包括ケア病床を開設（令和8年10月に12床開設予定）し、この地域に不足する回復期機能を提供します。
- ・地域災害拠点病院の機能を維持するため、老朽化により更新時期を迎えている施設・設備の更新、維持補修を進めます。
- ・常勤医師の減少から、通常診療や救急対応を維持するための非常勤医師の費用負担が重くなるとともに、物価高騰や賃金上昇、施設設備の大規模改修など診療収入で賄いきれない費用負担が重く、経営状況は厳しさを増していますが、地域医療を守るという使命を果たすため、持続可能で効率的な経営に向けて様々な経営改善策に取り組みます。

### 業務の予定量 ※( )内前年は、当初予算

1. 病床数 ※許可病床は感染症を除いている  
 7. 一般 許可・稼働 144床



### 2. 年間患者数

7. 入院	43,800人 (前年 44,238人)	△ 438人 減
4. 外来	91,580人 (前年 102,850人)	△ 11,270人 減

### 3. 一日平均患者数

7. 入院	120.0人 (前年 121.2人)	△ 1.2人 減
4. 外来	380.0人 (前年 425.0人)	△ 45.0人 減

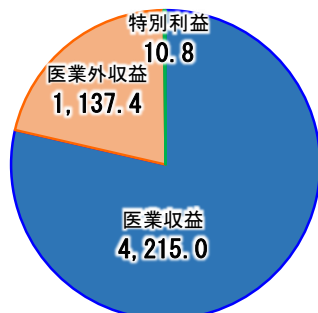
### 4. 主な建設改良事業

器械及び備品等取得費	32,246千円	(前年 287,316千円)	△ 255,070千円 減
施設設備等改修費	80,751千円	(前年 164,670千円)	△ 83,919千円 減

### 収益的収入及び支出 ※税込み

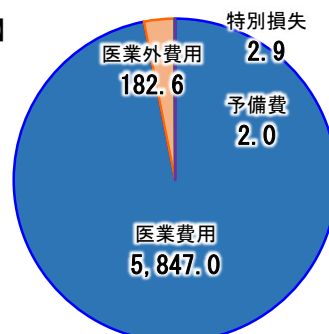
1. 収入	5,363,157千円 (前年 5,141,001千円)	222,156千円 増
2. 支出	6,034,513千円 (前年 6,068,003千円)	△ 33,490千円 減

#### 【収入】



(単位：百万円)

#### 【支出】

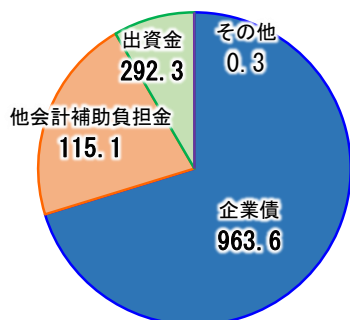


(単位：百万円)

### 資本的収入及び支出 ※税込み

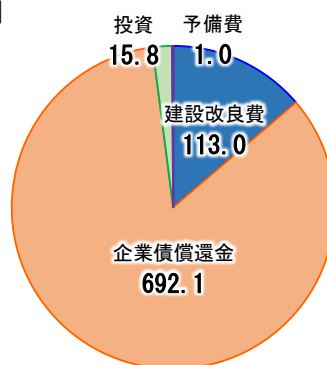
1. 収入 1,371,333千円 (前年 2,579,202千円) △ 1,207,869千円 減  
 2. 支出 821,944千円 (前年 1,117,022千円) △ 295,078千円 減

#### 【収入】



(単位：百万円)

#### 【支出】



(単位：百万円)

### 資金収支

#### 1. 資金収支の比較

(単位：千円)

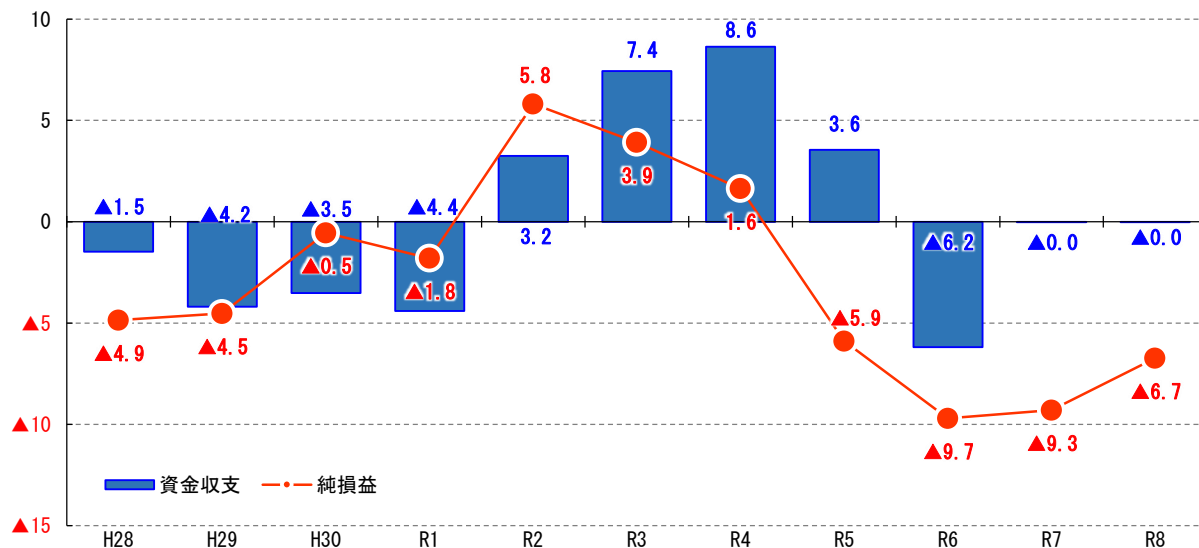
区 分	R8当初予算	R7当初予算	増減額	増減率
収益的収入計(税込) ①	5,363,157	5,141,001	222,156	4.3%
収益的支出計(税込) ②	6,034,513	6,068,003	▲33,490	▲0.6%
純損益(△損失) ③	▲673,340	▲930,028	256,688	▲27.6%
損益勘定留保資金等 ④	123,743	272,115	▲148,372	▲54.5%
資本的収支差引 ⑤	549,389	1,462,180	▲912,791	▲62.4%
流動資産 ⑥	790,780	814,701	▲23,921	▲2.9%
流動負債 ⑦	791,262	814,740	▲23,478	▲2.9%
当年度資金残高(⑥-⑦) ⑧	▲482	▲39	▲443	1,135.9%
参) 経営改善債発行前資金	▲852,482	▲1,717,139	864,657	▲50.4%

※純損益(△損失)は、税抜表示

※R8当初予算(⑥~⑧)は、R7 補正予算(2号)後数値

#### 2. 資金収支と純損益の推移

(単位：億円)



※H28~R6は決算

## 企業債

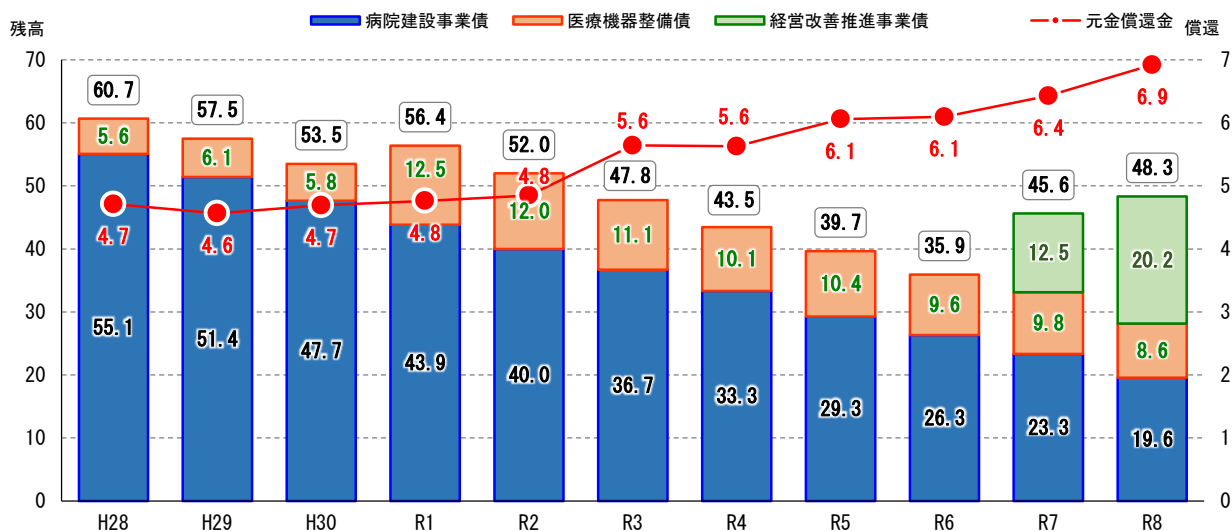
### 1. 残高見込み

(単位:千円)

R6末	R7末見込み	R8発行見込み	R8償還見込み	R8末見込み
3,593,314	4,560,488	963,600	692,137	4,831,951

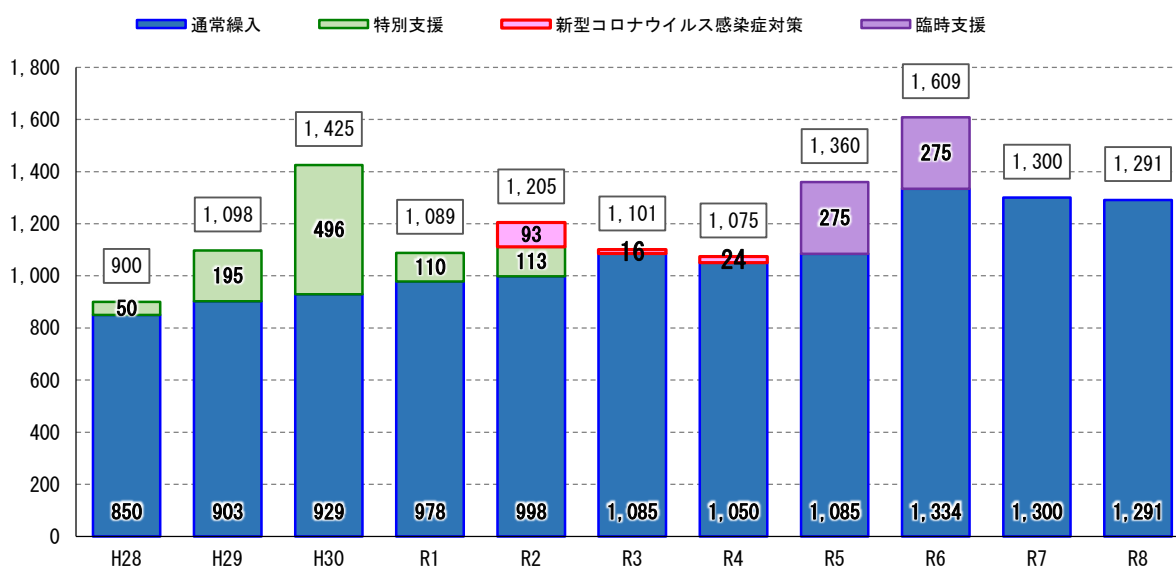
### 2. 償還及び残高の推移

(単位:億円)



## 一般会計繰入金

(単位:百万円)



### 【特別支援の内容】

平成29年度に策定した「新留萌市立病院経営改革プラン」に基づき、操出基準への上乗せや医師確保対策に要する経費を特別に支援した。令和2年度の黒字決算に伴い終了した。

### 【新型コロナウイルス感染症対策の内容】

令和2年度に創設された国の交付金「地方創生臨時交付金」を活用して、医療資機材や設備整備費防疫作業手当支給などの感染症対策事業に対して支援（繰入）した。

### 【臨時支援の内容】

新型コロナウイルス感染症の長期化や常勤医減少による減収及び、エネルギー価格の高騰など収益では賄いきれない経費の負担増などに対し、経営強化策として令和5年度、6年度に限り支援（繰入）した。

※表示単位未満四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(担当)

留萌市立病院 事務部総務課

(TEL) 0164-49-1011

(FAX) 0164-43-0337

(MAIL) zaimu@rumoi-hp.jp

(URL) <http://rumoi-hp.jp/>

## 収益的収入

・病院事業の運営に必要な収入は、主に入院料や外来診療料でまかなわれています。

(単位:千円)

区 分	R8当初予算	R7当初予算	増減額	増減率
入院収益 ①	2,339,923	2,211,900	128,023	5.8%
外来収益 ②	1,391,175	1,440,316	▲49,141	▲3.4%
他会計補助・負担金 ③	883,732	855,504	28,228	3.3%
その他医業収益 ④	153,350	146,533	6,817	4.7%
その他医業外収益 ⑤	584,175	476,546	107,629	22.6%
特別利益 ⑥	10,802	10,202	600	5.9%
合 計	5,363,157	5,141,001	222,156	4.3%

### ●今年の特徴

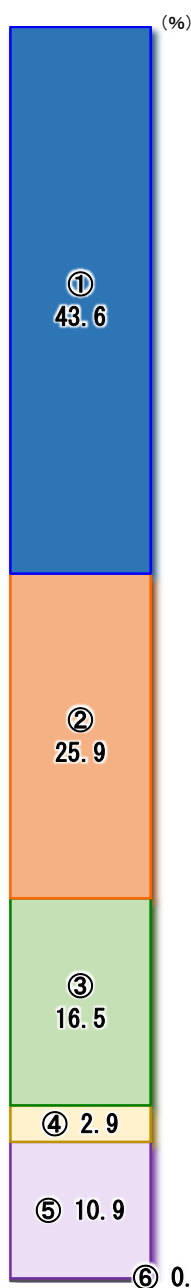
医師が充足されない中でも、ベッドコントロールによる病床稼働率の向上や管理料・加算の算定、地域包括ケア病床の開設など様々な増収策に取り組みます。

一般会計からの繰入金は、医師確保対策費補助金の増額など、28.2百万円の増額を予定しています。

その他医業外収益の増は、引当金戻入益 11.6百万円の増が主なものです。

収益的収入合計では前年度から 2億2,215万円増の 53億6,315万円を予定しています。

### ●構成比と主な増減内訳



#### ①入院収益

- ・稼働病床 144床
- ・10月1日より地域包括ケア病床 (12床) を開設予定
- ・延べ患者数 43,800人 (1日平均120.0人) を見込んでいる
- ・患者一人当たり診療単価は、53,423円を見込んでいる
- ・病院事業運営に必要な収入の約4割を占めている

#### ②外来収益

- ・患者数 91,580人 (1日平均380.0人) を見込んでいる
- ・患者一人当たり診療単価は、15,191円を見込んでいる
- ・地域センター病院としての役割を担うため、常勤医が不足する中でも救急医療や緊急手術など、診療体制を維持している
- ・病院事業運営に必要な収入の約3割を占めている

#### ③他会計補助・負担金

- ・一般会計から、国の基準 (病院の収益をもって充てることができないと認められる額) に基づき、救急、小児・産婦人科など政策的医療提供への支援

【国 基 準】 881,176千円 (前年比 26,515千円増)

【基 準 外】 2,556千円 (前年比 1,713千円増)

#### ④その他医業収益

- ・健康診断や人間ドック、予防接種、特別室の差額ベッド代、分娩料や診断書料などの収入で、宿泊ドックや健診の増を見込んでいる

#### ⑤その他医業外収益

- ・国や北海道からの補助金や院内保育の保育料、院内施設の貸付料などの収入のほか、長期前受金や各種引当金の戻入益などの非資金収入で、定年退職者の増による引当金戻入益の増を予定している

#### ⑥特別利益

- ・看護師等修学資金貸付金の償還免除に伴う一般会計の負担金 (市の制度として貸付していた額の償還免除相当額) を見込んでいる  
償還免除対象者数 6人、償還免除負担金 10,800千円

## 収益的支出

・職員の給料、医薬品購入などの病院事業を営むために必要な経費です。

(単位:千円)

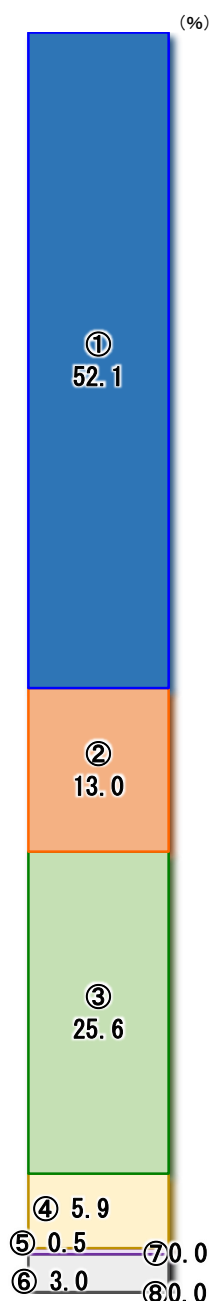
区 分	R8当初予算	R7当初予算	増減額	増減率
給与費 ①	3,137,947	3,043,538	94,409	3.1%
材料費 ②	783,288	838,164	▲54,876	▲6.5%
経費 ③	1,543,183	1,616,678	▲73,495	▲4.5%
減価償却費 ④	354,533	343,723	10,810	3.1%
その他医業費用 ⑤	28,070	28,758	▲688	▲2.4%
医業外費用 ⑥	182,553	196,140	▲13,587	▲6.9%
特別損失 ⑦	2,939	2	2,937	激増
予備費 ⑧	2,000	1,000	1,000	100.0%
合 計	6,034,513	6,068,003	▲33,490	▲0.6%

### ●今年の特徴

常勤医は14人(4月1日現在、専攻医、研修医は除く)体制を見込んでいます。また、常勤医が不足していても地域に必要な診療科は、出張医により補完・維持します。

退職手当や令和7年度の建設改良事業に伴う減価償却費が増加しますが、費用の見直しを徹底し、収益的支出合計は前年度から3,349万円減額の60億3,451万円を予定しています。

### ●構成比と主な増減内訳



#### ① 給与費

- ・外科及び総合診療領域の専門研修専攻医の受入を見込んでいる
- ・初期研修医1人の新規採用を予定している
- ・退職手当の増などにより、給与費総額は増加している

#### ② 材料費

- ・抗がん剤など高額注射薬の払出が増加している
- ・延べ患者数の減少のほか、使用品目の見直しなどにより、診療材料費の減を見込んでいる

#### ③ 経費

- ・病棟再編・病床適正化に伴い各種契約を見直している
- ・経費総額は減少しているが、物価高騰、賃金上昇に伴う各種業務委託料の増、診療体制を維持するための非常勤医師の経費など、病院運営にかかる費用負担は重くなっている

#### ④ 減価償却費

- ・病院の建物や医療用器械などの減価償却費で、令和7年度に取得した償却資産(医療器械及び施設設備更新)の減価償却費が増加している

#### ⑤ その他医業費用

- ・医師をはじめとする医療スタッフの研究研修費や資産減耗費(医療用器械等の除却費など)
- ・医療スタッフの自己研鑽、スキルアップなどに要する経費を維持する

#### ⑥ 医業外費用

- ・企業債支払利息や保育施設、消費税等に係る経費で、令和7年度発行の経営改善推進事業の利息償還が開始する一方で、建設改良費の減少に伴い控除対象外消費税が減少する

#### ⑦ 特別損失

- ・固定資産売却損及び過年度損益修正損の費用で、令和7年度に更新した医療器械の売払いに伴う売却損を予定している

#### ⑧ 予備費

- ・各科目別に予算計上しているものの、不測の事態に備え計上している

## 資本的収支

・資本的収支とは、将来の経営活動に備えて行う医療用器械の購入・施設整備やそれにかかる企業債の元金償還、企業債償還のための一般会計からの出資金などの収入のことをいいます。

### 資本的収入

(単位:千円)

区 分	R8当初予算	R7当初予算	増減額	増減率
企業債 ①	963,600	2,152,900	▲1,189,300	▲55.2%
他会計出資・補助・負担金 ②	407,401	412,841	▲5,440	▲1.3%
その他 ③	332	13,461	▲13,129	▲97.5%
合 計	1,371,333	2,579,202	▲1,207,869	▲46.8%

### 資本的支出

(単位:千円)

区 分	R8当初予算	R7当初予算	増減額	増減率
建設改良費 ④	112,997	451,986	▲338,989	▲75.0%
企業債償還金 ⑤	692,137	642,826	49,311	7.7%
その他 ⑥	16,810	22,210	▲5,400	▲24.3%
合 計	821,944	1,117,022	▲295,078	▲26.4%

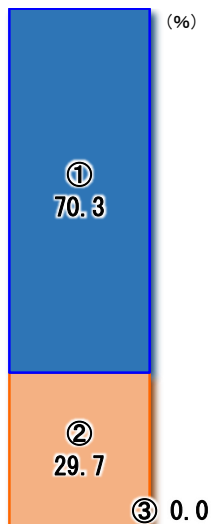
収 支 差 引	549,389	1,462,180	▲912,791	▲62.4%
---------	---------	-----------	----------	--------

### ●今年の特徴

耐用年数を超過し保守や故障時の修理が困難となっている医療用器械の更新及び、老朽化により更新が必要となっている施設改修事業で、合計1億1,300万円の建設改良費を予定し、企業債を財源として見込んでいます。また、令和7年度に引き続き収支改善に取り組む公立病院の資金繰り支援のための経営改善債の発行を見込んでいます。

### ●構成比と主な増減内訳

収入



#### ①企業債

・通常の医療用器械整備事業やサイバーセキュリティ対策のほか、無停電・直流電源装置の更新など病院付帯施設整備事業を実施する  
 【医療用器械等整備】 30,900千円  
 【病院付帯施設整備】 80,700千円  
 ・資金不足額を経営改善推進事業債で振替え、経営改善に取り組む  
 【経営改善債】 852,000千円

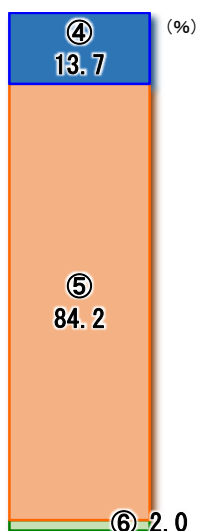
#### ②他会計出資・補助・負担金

・一般会計からの支援で、国の基準に基づく支援と留萌市独自の支援を予定している。  
 【国 基 準】 375,243千円(前年比 17,771千円増)  
 【独自基準】 32,158千円(前年比 3,477千円増)

#### ③その他

・資産売却代金を計上している

支出



#### ④建設改良費

・医療用器械の更新を実施する  
 ・老朽化した施設設備の更新を実施する  
 ・サイバーセキュリティ対策関連の整備を進める

#### ⑤企業債償還金

・病院建設や医療用器械、設備整備の財源として発行した企業債及び、令和7年度の経営改善推進事業の償還費を計上している  
 【病 院 建 設 等】 455,543千円(前年比 21,293千円増)  
 【医療用器械整備】 153,327千円(前年比 55,249千円減)  
 【経営改善推進事業】 83,267千円(償還開始)

#### ⑥その他

・医師、看護師、薬剤師修学資金貸付金は、既存及び新規貸付者所要額をそれぞれ予定し、予備費については、不測の事態に備え計上している  
 【既存】 医師 2人 看護師 9人 薬剤師 1人  
 【新規】 医師 1人 看護師 5人

## 企業債

### ●企業債償還金と残高の特徴

#### (通常債)

企業債とは、建設改良事業(病院事業の場合は病院や医師住宅の建設、付帯設備や医療用器械、医療情報システムの整備など)を行う時に、その資金不足を賄うために借入する起債(借金)のことです。

現在の市立病院は、平成13年に完成しましたが、この建設に約92億円(医療用器械除く)を借り入れ、令和8年度には4億円を償還、すべての償還が終わるのは令和13年度です。

病院建設とあわせて付帯設備や医療用器械の整備を実施しましたが、大規模な修繕や更新の時期を既に迎えており、優先順位や必要度、実施時期のバランスを保ちながら計画的に更新を進めていきます。

令和8年度は、元金償還金が6.9億円にもなりますが、厳しい経営状況の中でも、市立病院の強みを活かすために欠かせない医療用器械の更新やサイバーセキュリティ対策、病院付帯設備の整備など、選択と集中、優先順位をつけながら事業を進め、将来にわたり安定した医療環境の整備に努めていきます。

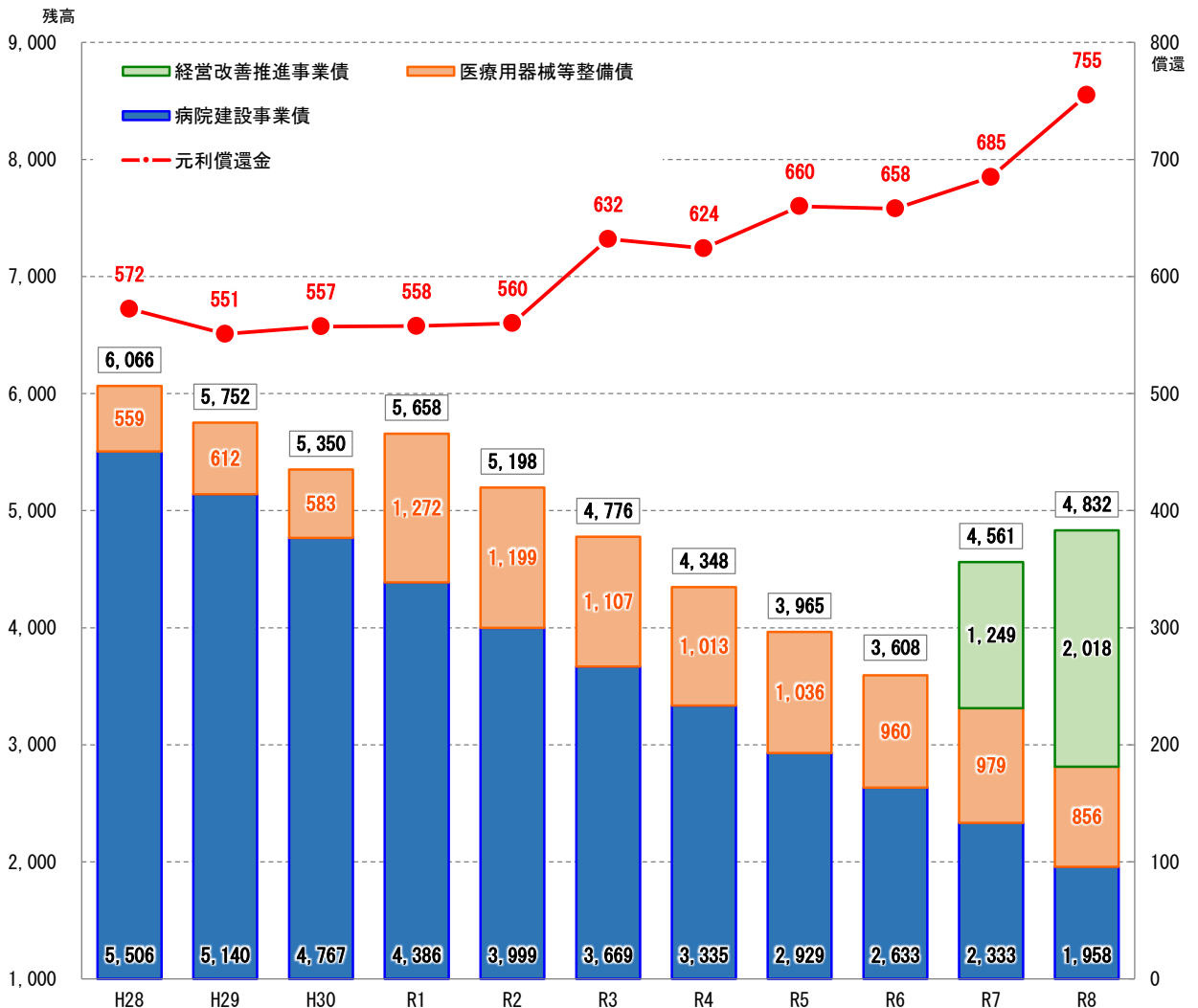
#### (経営改善推進事業債)

医師の偏在や物価高騰・賃金上昇など、医療を取り巻く環境は厳しさを増し、公立病院の経営状況は危機的な状況にあることから、資金不足が生じている公立病院が経営改善実行計画を策定し収支改善に取り組むことを要件として、資金繰りを支援するために総務省が令和7年度に創設した病院事業債で、資金不足額と経営改善効果額のいずれか小さい額を上限として、令和7年度から令和9年度までの間活用できるものです。

留萌市立病院は、令和6年度末に経営の効率化を図るため病棟再編・病床の適正化を実施しましたが、効率的な組織体制を再構築するまでにある程度の期間がかかることや、令和8年度についても常勤医の確保が困難であるとともに様々な経費負担が嵩み、経営状況が極めて危機的な状況となることから、同事業の活用により運営資金を確保しながら経営改善に取り組めます。

### ●元利償還金と残高の推移

(単位：百万円)

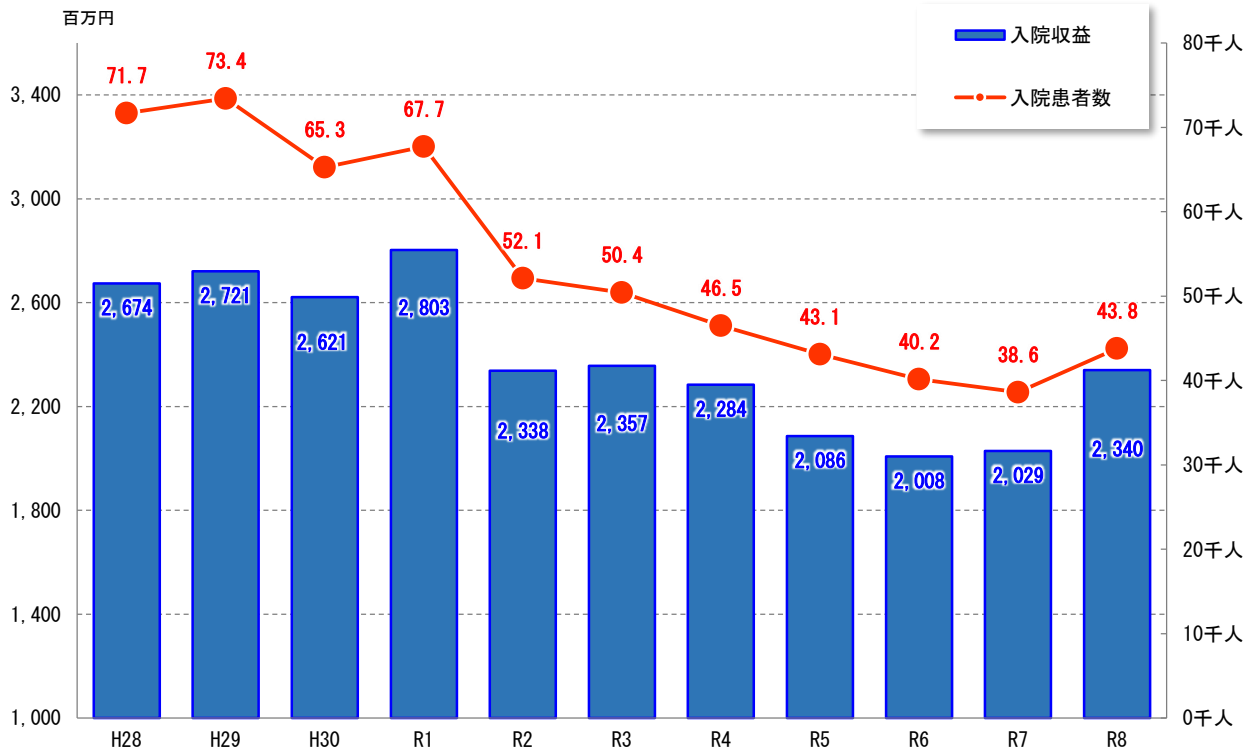


# 患者数

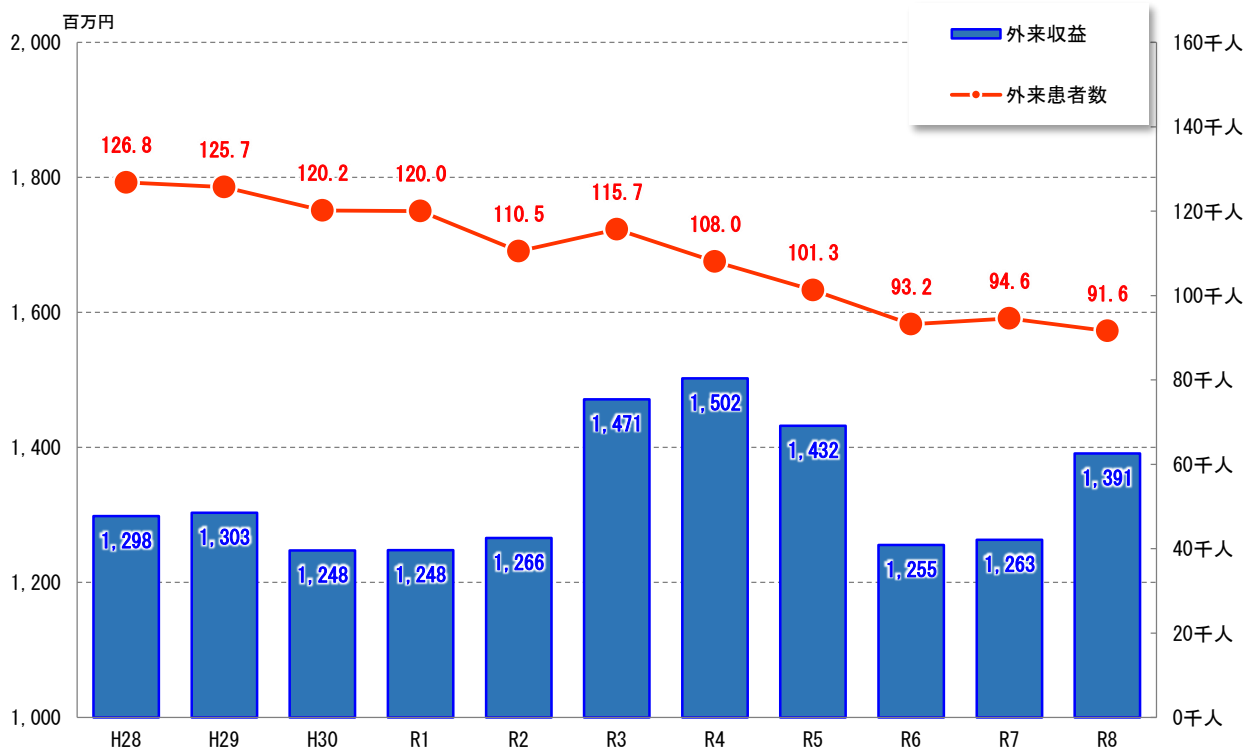
## ●患者推移の特徴

令和元年度に上昇傾向に転じていた入院患者数・収益は、コロナ禍で低迷し、常勤医師の派遣縮小も相まって、感染症法の分類が5類移行後も回復することなく減少傾向が続いています。  
 外来も患者数は減少傾向にあり、コロナ検査の増加等により収益は一時上昇しましたが、5類移行後は収益も減少傾向にあります。  
 人口減少などを考慮し、令和7年3月に病棟再編、病床の適正化に取り組み、入院においてはベッドコントロールの強化などによる病床稼働率の向上を、外来においては病床規模の適正化による加算等の算定による増収を進め、少ない医師、限られた医療スタッフが一体となり、安心して暮らすことができる地域にねざした医療の提供と経営改善に全力で取り組みます。

## ●入院患者数・収益の推移



## ●外来患者数・収益の推移



**予定貸借対照表** (令和9年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部	
1 固定資産	
(1) 有形固定資産	
イ 土地	517,928
ロ 建物	9,490,405
減価償却累計額	<b>▲6,615,381</b>
ハ 構築物	400,955
減価償却累計額	<b>▲371,631</b>
ニ 器械及び備品	3,453,866
減価償却累計額	<b>▲2,692,385</b>
ホ 車両	78
減価償却累計額	0
ハ 建設仮勘定	0
有形固定資産合計	4,183,835
(2) 無形固定資産	1,858
(3) 投資その他資産	
イ 長期貸付金	182,254
貸倒引当金	<b>▲182,254</b>
ロ 長期前払消費税	0
投資その他資産合計	0
固定資産合計	4,185,693
2 流動資産	
(1) 現金預金	149,842
(2) 未収金	599,201
貸倒引当金	<b>▲5,712</b>
(3) 貯蔵品	47,449
流動資産合計	790,780
3 繰延勘定	
(1) 退職給与金	0
繰延勘定合計	0
4 繰延資産	
繰延資産合計	0
資産合計	<b>4,976,473</b>

負 債 の 部	
5 固定負債	
(1) 企業債	4,122,497
(2) 引当金	
イ 退職給付引当金	900,768
ロ 一般会計支出金引当金	97,937
引当金合計	998,705
固定負債合計	5,121,202
6 流動負債	
(1) 一時借入金	300,000
(2) 企業債	784,253
(3) 未払金	313,866
(4) 引当金	168,338
(5) 預り金	9,058
流動負債合計	1,575,515
7 繰延収益	
(1) 長期前受金	
イ 他会計補助及び負担金	
長期前受金	1,190,638
収益化累計額	<b>▲1,093,109</b>
ロ 国・道補助金長期前受金	878,109
収益化累計額	<b>▲510,652</b>
ハ 寄附金長期前受金	13,512
収益化累計額	<b>▲2,413</b>
ニ 受贈財産評価額	350,054
収益化累計額	<b>▲73,413</b>
長期前受金合計	752,726
繰延収益合計	752,726
負債合計	<b>7,449,443</b>

資 本 の 部	
8 資本金	
(1) 自己資本金	9,088,551
9 剰余金	
(1) 資本剰余金	1,473,984
(2) 利益剰余(△欠損)金	<b>▲13,035,505</b>
剰余金合計	<b>▲11,561,521</b>
資本合計	<b>▲2,472,970</b>

資 産 合 計 4,976,473

負 債 ・ 資 本 合 計 4,976,473

## 予定キャッシュ・フロー計算書 (令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(単位：千円)

### 1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純損益	▲673,340
減価償却費	354,533
減損損失	0
引当金の増減額 (△は減少)	▲63,726
長期前受金戻入額	▲212,916
受取利息及び配当金	▲1
支払利息	62,818
固定資産除却費	5,000
長期前払消費税勘定償却費	0
長期貸付金の償還免除費	21,600
控除対象外消費税	10,362
消費税資本的収支調整額	▲29
有形固定資産売却損益	2,938
未収金の増減額 (△は増加)	▲54,836
未払金の増減額 (△は減少)	1,804
たな卸資産の増減額 (△は増加)	▲8,718
小計	▲554,511
利息及び配当金の受領額	1
利息の支払額	▲62,818
業務活動によるキャッシュ・フロー	▲617,328

### 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	▲113,997
有形固定資産の売却による収入	330
補助金等による収入	0
長期貸付金による支出	▲15,810
長期貸付金返済による収入	1
寄附金収入	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲129,475

### 3 財務活動によるキャッシュ・フロー

一時借入金による収入	5,000,000
一時借入金の返済による支出	▲5,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債収入	111,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債償還金	▲608,870
その他の企業債収入	852,000
その他の企業債償還金	▲83,267
建設改良費等の企業債の償還に充てるための他会計繰入金	115,088
他会計からの出資による収入	292,313
その他	▲13,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	665,685
資金増減額	▲81,118
資金期首残高	230,960
資金期末残高	149,842

- 業務活動によるキャッシュ・フローとは  
サービスの提供などによる収入や営業活動に必要な原材料などの購入による支出によって得られた現金
- 投資活動によるキャッシュ・フローとは  
将来へ向けた資産の取得や売却によって得られた現金
- 財務活動によるキャッシュ・フローとは  
事業運営のための借入金や市の繰入金など外部からの資金調達によって得られた現金

#### 【業務活動CF】

コロナ禍から受入患者が回復せず、常勤医師の派遣縮小も影響し、医業収益が減少し続ける中、非常勤医師の経費負担が増えるとともに、物価高騰や賃金上昇、施設設備の大規模改修など費用負担が嵩み業務活動は赤字が続きますが、様々な増収策や経費節減など経営の効率化に取り組みます。

#### 【投資活動CF】

市立病院は、平成13年に移転改築しています。  
老朽化が進んでいる附帯設備や医療用器械、医療情報システムについて、計画的な更新を進めています。  
医師・看護師等の安定確保のため、修学支援をしています。

#### 【財務活動CF】

企業債償還は、市からの繰入金で賄っています。  
急激な経営悪化に直面し、資金繰りが厳しいことから、一時借入金と経営改善推進事業債の発行により、経営資金を調達します。

**主な経営指標**

※R7は2号補正後の数値

○病床利用率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
(246床)	(246床)	(246床)	(246床)	(246床)	(202床)	(144床)	(144床)
74.4%	58.0%	56.9%	51.8%	50.1%	53.4%	73.5%	83.3%

※稼働病床に対する利用率

(令和6年1月1日から令和8年3月31日までは、地域包括ケア病棟(44床)休床により、稼働 202床で計算)

○経常収支比率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
96.7%	109.9%	106.0%	102.5%	89.9%	84.1%	88.7%	88.7%

※経常費用(医業費用・医業外費用)に対する経常収益(医業収益・医業外収益)の割合を示し、通常の病院活動による収益状況を示す指標。100%を超えることで、単年度の収支が黒字であることを示している。

○医業収支比率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
84.2%	74.9%	73.8%	71.3%	68.7%	64.5%	65.7%	73.5%

※病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標。医業費用が医業収益でどの程度賅われているか、どの程度利益率を上げているか判断するもので、100%を超えていることが望ましい。

○修正医業収支比率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
85.5%	74.1%	74.6%	72.3%	67.1%	61.3%	61.9%	71.7%

※医業活動で得た収入である医業収益から一般会計からの繰入金を除いて計算した医業収支比率。病院自らの経営によってあげた収益でどの程度医業費用を賅っているかを判断する指標。

○累積欠損金比率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
253.8%	270.6%	245.7%	245.2%	275.9%	309.6%	328.0%	310.2%

※医業収益に対する累積欠損金(当年度純損失+前年度繰越欠損金+その他未処分利益剰余金変動額)の割合を示すもの。

○職員給与費比率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
51.6%	64.7%	64.0%	65.0%	65.0%	71.4%	72.9%	66.8%
66.8%	72.9%	71.6%	71.9%	71.9%	83.2%	84.7%	76.3%

※医業収益に対する職員給与費(児童手当、退職金は除く)の割合を示すもの。

※下段は(職員給与費+出張報酬)÷医業収益

○有形固定資産減価償却率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
63.6%	65.2%	65.5%	66.9%	66.9%	67.8%	68.4%	70.3%

※有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標で、資産の老朽化度合いを表す。

○資金不足比率

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
9.9%	-	-	-	-	16.3%	0.0%	0.0%

※医業収益に対する資金不足(不良債務)の割合を示すもの。

経営健全化基準(20%)を超えると経営健全化計画を策定し、議会の議決を経て速やかに公表、総務大臣、知事に報告。毎年度実施状況を議会に報告し、公表する。また、個別外部監査契約に基づく監査を実施しなければならない。

留萌市立病院 事務部総務課  
〒077-8511 北海道留萌市東雲町2丁目16番地1  
(TEL) 0164-49-1011  
(FAX) 0164-43-0337  
(MAIL) [zaimu@rumoi-hp.jp](mailto:zaimu@rumoi-hp.jp)  
(URL) <http://rumoi-hp.jp/>